

保育所における人権擁護等に関するチェックリスト



子供未来局幼稚園・保育部 運営支援課
平成29年3月

【チェックリストの活用について】

「子どもの最善の利益」を第一に考え、子どもと子育て家庭への支援を行う事が、私たち保育所職員の果たす責務です。保育が「子どもの人権に配慮した」内容になるために、振り返りの一つの手立てとしてこのチェックリストを活用してください。

1. 保育は日々忙しく、ともすると子どもの気持ちや願いに心を寄せようとせず、保育士等の思いのままに管理して子どもを動かそうとする傾向に陥りがちです。
保育士が子どもに対して、「何気なくしている事が、人権を侵している事にならないか」と意識すると、保育も変わっていくと思います。
2. このチェックリストは、基本的には自己チェックリストを前提として作成しましたが、内容によっては、自分に該当する事だけではなく、保育中の同僚の行動が気になるという事もあると思います。
自己チェックだけでなく様々な形で活用し、チェックする時期や回数等、各保育所で検討して取り組んでください。
その場合、職員に対する批判の材料にはしないでください。
チェックをする事で「気付き」に繋げ、どうすれば良かったのか職場で話し合いを持ちながら、職員間の共通理解や研鑽を深めるきっかけにしてください。
3. チェックリストの項目は、保育の全てを網羅していません。保育所で項目を加筆して使用してください。
保育士等が子どもと接する時は一人の尊厳ある人間としてとらえ、「自分がそうされたら・・・どうなるだろう」と、立ち止まって考える事が、人権に十分配慮するという意味でもとても大切です。
4. 子どもの生命や安全を守らなければならない場合は、子どもの人権を優先できない事もあると思います。その事を問題とはしていません。
また、保育士も人です。叱りすぎたり、子どもの気持ちを無視してしまう事もあるかもしれません。その時は「ごめんね」という気持ちを伝えましょう。

チェックの仕方

- 0: 全くない
- 1: たまにある
- 2: 時々ある
- 3: 日常行っている

入所児童の人権擁護等に関するチェックリスト

項目	No.	内 容	頻 度	理 由 (ワンポイントアドバイス)
食 事	1	配膳する前(食べ物が目の前にない時)に「いただきます」をしていませんか。	0・1・2・3	人格を辱める行為 食事を目の前にして「いただきます」の挨拶をする事に意味があります。年齢に応じて、一人一人挨拶をしながら配膳する等の配慮をしましょう。
	2	食事用エプロンの上に、食器や食べ物を置いていませんか。	0・1・2・3	身体的苦痛 子どもの動きを止める事になり、身体拘束と同じになる事を理解しましょう。
	3	一品ずつ食べ終わってから配膳したり、または苦手な物から勧める等していませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛・身体的苦痛 残さず食べてほしいという思いが、子どもを苦痛にしていますか。子どもが自ら選択できるような配慮をしましょう。
	4	食べたがらない子どもや泣いている子どもの口に食べ物や飲み物を入れる等、無理やり食べさせていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛・身体的苦痛 どうして食べたくないのか、どうすれば自分から食べようとするのか考えましょう。
	5	食事の介助の時に、子どもの後ろから顔を見ないで食べさせていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 顔を見ない介助で、子どもの様子がわかりますか。危険です。顔を見て、食べる意欲が湧くように関わりましょう。
	6	好きなおかずやデザート等を食べている合間に、進まないおかずを口に入れていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛
	7	皿に残っているおかずを主菜・副菜関係なく、集めて食べさせていませんか。	0・1・2・3	子どもの味覚を育てる観点から考えてみましょう。それぞれに味わって食べられるようにしましょう。
	8	「がんばって食べなさい」と強く全部食べるように促したり、「これを食べないとデザートはあげません」等と言っていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 どんな声掛けをしたら良いのか考え、楽しく食事ができるようにしましょう。
	9	食べ物をこぼした時に叱ったり、保育士の見守りなしに罰として、自分で始末させていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 子どもはまだ未熟なところがあって当たり前です。たとえ年長児であっても保育士と一緒に片づけるようにしましょう。
	10	食事中に箸を落とした子どもに、「もう終わりにしてください」等と言っていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 まだ食べたかったのではないのでしょうか。本人に確認しましょう。
	11	給食やおやつを食べるのに時間がかかっている子どもを、部屋に一人にしている事はありますか。	0・1・2・3	精神的苦痛 部屋に一人取り残されている子どもの気持ちになってみましょう。「食べたい」と子どもが言ったら、側で見守る等配慮をしましょう。

食 事	12	食べる事に時間がかかっている子どもを、保育士の都合だけで一つのテーブルに寄せたりしていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 どうしても場所を移動しなければならない時には、その理由を子どもに分かりやすく伝えましょう。
	13	声を掛けずに食事用エプロンをさっと取ったり、口の周りをごしごし拭いたりしていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛・身体的苦痛 自分でやりたいという子どもの気持ちに寄り添ったり、食物アレルギー対応できれいに拭く事が必要であっても声を掛けてから優しく行いましょう。
	14	自分で食事の支度、片付けをしようとしている子どもに対して、保育士の都合でやってしまっていないですか。	0・1・2・3	精神的苦痛 自分でやろうとした子どもの気持ちを見向きしていませんか。子どもがやろうとする意欲を大切にしましょう。
	15	まだ食べている子どもの目の前で残菜を集めていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 自分が食べている物と同じ物が、残菜として廃棄される様子を見る子どもの気持ちを考えてみましょう。
	16	食事中テーブルを片付けてしまい、牛乳等を飲ませていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛・身体的苦痛 牛乳を飲み終えるまでが食事です。子どもの気持ちを考えましょう。
	17	食べ終わってもずっと座らせている等、年齢に合わない待たせ方や食事時間の設定をしていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 発達にそぐわない待たせ方はただ我慢をさせているだけです。適切な食事時間で片付けましょう。
	18	食べている子どもがいるのに、掃き掃除等をしていませんか。	0・1・2・3	健康に生きる権利・人格を辱める行為・精神的苦痛 食べている所で掃除をする事は、不衛生です。食べている所を掃除される子どもの気持ちを考えてみましょう。
	19		0・1・2・3	
	20		0・1・2・3	
	21		0・1・2・3	
22		0・1・2・3		
23		0・1・2・3		

項目	No.	内 容	頻 度	理 由 (ワンポイントアドバイス)
着替え・排泄・午睡	1	排泄時に「行きたくない」「出ない」という子どもも、一斉にトイレに行かせていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 保育士の都合で行かせていませんか。皆が同じタイミングで排泄するとは思えません。一人一人の排泄のタイミングを把握しましょう。
	2	「トイレに行きたい」という子どもに、「今はその時間ではありません」と言う事はありませんか。	0・1・2・3	健康に生きる権利 生理現象は基本我慢できないものです。年齢によっては、見通しを持ってトイレに行く事ができるように知らせましょう。
	3	オムツ交換の時に、お尻を出したまま子どもにオムツを取りに行かせていませんか。	0・1・2・3	プライバシーの保護 お尻を出したまま歩き回らない事を知らせていきましょう。
	4	排便した子どもに対して感情的に「臭い」等と言いながら、オムツ交換や汚れ物の始末をしたりしていませんか。	0・1・2・3	人格を辱める行為 排便は悪い事と感じさせるような言葉がけは慎みましょう。「すっきりしたね」等と、子どもの気持ちに寄り添った言葉掛けをしましょう。
	5	汚れているオマルに座らせたり、トイレの汚れをそのままにして使用させていませんか。	0・1・2・3	健康に生きる権利・精神的苦痛 トイレの衛生に気を付け、気持ち良く使えるようにしましょう。
	6	おねしょをした子どもに、「もう〇歳なのに」等と子どもが傷つく事を言ったり、周りの子に聞こえるように話したりしていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 おねしょは特別な事ではありません。失敗を責められる子どもの気持ちを考えましょう。
	7	おねしょ布団を干す時に名前が見えるように干していませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛・プライバシーの保護 周りが見えないように干す配慮をしましょう。
	8	おねしょやおもらしをした際に、着替えを用意する等の配慮をせずに、先に服を脱がせたり他児の前で着替えさせたりしていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛・プライバシーの保護 年齢によっては自尊心が傷つきます。周りの子ども達から見えない所で着替えさせましょう。
	9	おねしょやおもらしの引き継ぎを子ども達に聞こえるように話していませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 本人や周りの子ども達に聞こえないように話す配慮をしましょう。
	10	着替えの時に全裸にしていませんか。	0・1・2・3	プライバシーの保護 小さな子どもであっても、プライバシーは尊重されなければなりません。周囲から見えないようにしましょう。
	11	子どもが裸のままトイレに行ってはいませんか。 (特に3歳未満児)	0・1・2・3	プライバシーの保護 小さな子どもであっても、プライバシーは尊重されなければなりません。全裸のままトイレに行かないように配慮をしましょう。
	12	プールから上がり、体を洗う時に、全裸にしたまま長時間並ばせていませんか。	0・1・2・3	プライバシーの保護 年齢によっては男女別にしたり、体を洗う直前に水着を脱いだりする等の配慮をしましょう。

排泄・着替え・午睡	13	子どもが着替える時に、近隣から見えていませんか。	0・1・2・3	プライバシーの保護 年齢にかかわらず裸を見られる事の無いように注意しましょう。
	14	理由もなく下着のまま遊ばせたり食事をさせたりしていませんか。	0・1・2・3	プライバシーの保護 身だしなみも小さい時から伝えていきましょう。
	15	子どもの洋服が汚れていても着替えさせなかったり、気温が変化しても衣服の調節をさせなかったりしていませんか。	0・1・2・3	健康に生きる権利 子どもが心地良く過ごせるように、声を掛けたり、着替えさせましょう。
	16	子どもの鼻水が出ていても拭かないでいる事はありませんか。	0・1・2・3	健康に生きる権利 きれいになった気持ち良さを、子どもが感じられるようにしましょう。
	17	午睡中、眠れない子どもに対して「静かにしてください」等と感情的に強い口調で注意していませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 なぜ静かにしなければならないかを保育士も静かな声で知らせましょう。
	18	眠りに誘うとき、“トントン”するのが強すぎたり、揺らすのが大きすぎたりしていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛・身体的苦痛 子どもが心地良いと感じ眠れる加減を探りながら、安心して眠れる環境を整えましょう。
	19	ふざけている子どもの布団を急に剥がしたり、理由を告げずに布団を移動させたりしていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 感情的にならずに諭したり、まず子どもに理由を話してから布団を移動させたりする等眠れる環境を整えましょう。
	20	寝ている子の頭や体を平気でまたいだりしていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛・人権を辱める行為 子どもは物ではありません。またがれる子どもの気持ちになってみましょう。
	21			
	22			
23				
24				

項目No.	内 容	頻 度	理由(ワンポイントアドバイス)	
クラス活動・その他	1	性別によって制作物の色を決めたりしていませんか。	0・1・2・3	差別されない権利 性別でこうあるべきという発想ではなく、子どもに選ばせる等、自由な発想を大切にしましょう。
	2	「女の子らしく」「男の子なんだから」等と決め付けた声掛けをしていませんか。	0・1・2・3	差別されない権利 一人一人興味・関心が違って当然です。その子らしさを大切にしましょう。
	3	保育士の感情のままに、子どもによって声掛けや態度に差をつけていませんか。	0・1・2・3	差別されない権利 一人一人の特徴や発達段階を考慮し、等しく愛情を持って関わりましょう。
	4	外国籍児の文化や生活を理解しようとせず、非難するような言動をしていませんか。	0・1・2・3	差別されない権利 国籍や文化の違いを認め合い、様々な人の生活や文化を尊重しましょう。
	5	子ども達の前で、家庭状況等、個人情報がかかる事を話していませんか。	0・1・2・3	プライバシーの保護・守秘義務 子ども達の前であっても、守秘義務を守りましょう。
	6	インターネット等で個人が特定される情報や子どもの写真をアップしていませんか。	0・1・2・3	プライバシーの保護・守秘義務 子どものプライバシーを守る義務があります。保育所内で保育の様子の写真を掲示する場合にも、子どものプライバシーに配慮し慎重に扱きましょう。
	7	集団に遅れて行動する子どもが、見守りもなしに置き去りにしていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 子どもを置き去りにしないよう、職員間で連携を図りながら、保育を工夫しましょう。
	8	なかなか入室しない子どもを、罰として室内に入れられない等していませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 子どもが自分から入室できるよう工夫したり、時間配分を考えたりしましょう。
	9	保育士の話を聞かないからと、部屋の外に出していませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 場所を変える必要がある場合には、部屋の外に保育士も一緒に出て、話しをしましょう。
	10	子どもをクールダウンさせようとして場所を変える際に、子どもの腕を強くつかんだり、無理やり抱き上げる等荒々しく対応していませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛・身体的苦痛 感情的な対応は、「嫌だった」という気持ちだけが残ります。「何故叱られたか」考えられるような対応をしましょう。
	11	子どもが話し掛けてきても、忙しい等で無視していませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 どうしても応答できない時は、その理由といつまで待てば良いのか知らせましょう。
	12	子どもに何も伝えずに、急におんぶしたり抱き上げたりしていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 不意に動かされる子どもの気持ちを考えてみましょう。まだ話せない子どもでも、声掛けをしてから関わりましょう。

クラス活動・その他	13	「〇〇しないと〇〇はできません」等と条件を付けていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛・子どもの最善の利益 「〇〇したら〇〇しようね」等見通しが持てるような声掛けをしましょう。
	14	子どもの身体や服装等について、傷付くような事を言っていないですか。	0・1・2・3	精神的苦痛 子ども達は、保育士の何気ない言葉で傷付きます。非難するような言葉は慎み、肯定的な言葉掛けをしましょう。
	15	子どもに手こずり、「めんどくさい」「無理」「疲れた」「嫌になる」等と子どもの前で、愚痴を言っていないですか。	0・1・2・3	精神的苦痛 聞いている子どもはどんな気持ちになるか、想像してください。専門職であることを自覚しましょう。
	16	「そんなことはいいから早くしなさい」等と強い口調で言ったり、急がせたりしていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 子どもの思いを汲み、自分から次の行動に移せるような声掛けや時間配分を心掛けましょう。
	17	「もう知らないから好きにしてください」「信じられない」等子ども達を傷つけたり侮辱するような言葉を使っていないですか。	0・1・2・3	精神的苦痛・人格を辱める行為 子どもは一人一人が大切な存在です。子どもに応じた適切な対応を心掛けましょう。
	18	子どもの前で保護者の事を悪く言ったりしていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛 3歳未満児でも保育士の話を察するものです。子どもの前での会話に注意しましょう。
	19	トラブルを起こした等の理由で活動に参加させない事はありませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛・身体的苦痛 罰を与える等の短絡的な対応は望ましくありません。子どもの気持ちを考えながら、対応しましょう。
	20	子どもの腕や体を強く引っ張ったり無理強いをしたりしていませんか。	0・1・2・3	身体的苦痛 生命に関わる等の危険を回避する時以外、どんな理由であっても許される行為ではありません。
	21	しつけといって、子どもを叩いたりつねったりしていませんか。	0・1・2・3	精神的苦痛・身体的苦痛 どんな理由があっても許される行為ではありません。
	22	保育士の都合だけでいつも遊びや遊具の使い方を過度に制限していませんか。	0・1・2・3	遊ぶ権利 安全上制限する事もありますが、安全面の確保ができた時は、子どもが主体的に遊ぶ事ができる環境を整えましょう。
23	泣いたり困っている子どもを、そのままにしていますか。	0・1・2・3	子どもの最善の利益 どうして泣いているのか、何に困っているのか等理由を考えてみましょう。そして、子どもに合った対応を考えましょう。	
24	子どもの声をさえぎって、言い聞かせていませんか。	0・1・2・3	子どもの最善の利益 保育士等の主張だけでは子どもは受け入れられません。まず、子どもの話をよく聞きましょう。	
25	子どもの言葉にならない言葉を聞こうとせずに注意したり、決め付けた言い方をしたりしていませんか。	0・1・2・3	子どもの最善の利益 年齢、個人差を踏まえた上で、子どもの表情や仕草等から、言葉にならない思いを汲み取る事を大切にしましょう。	

クラス活動・その他	26	必要以上に大きな声で促したり, 他児の前で注意をしていませんか。	0・1・2・3	人格を辱める行為 注意しなければいけない時は, その子どもに聞こえる位の声で, 静かに話しましょう。
	27	子どもの苦手な事やできない事を, 他児の前で話したりしていませんか。	0・1・2・3	人格を辱める行為 保育士の言動を子ども達は敏感に受け止めます。他児の前で話すのはやめましょう。
	28	「〇〇ができないなら, 赤ちゃん組に行きなさい」等と語っていませんか。	0・1・2・3	人格を辱める行為・精神的苦痛 子どもを脅かしてコントロールしてはいけません。
	29	子どもの名前を呼び捨てにしていませんか。	0・1・2・3	人格を辱める行為 名前は子ども自身です。親しみを込めたものであっても, 呼び捨てやあだ名で呼ばず, きちんと敬称を付けて呼びましょう。
	30			
	31			
	32			
	33			
	34			
	35			
36				
37				